

大会名 Competition	第47回東北中学バスケットボール大会 【男子予選リーグ】			
NO. C-6	Year	Month	Day	Time
	2017	年 8	月 9	日 15 : 40
場所 Place	CNAアリーナ★あきた			

秋田県中学校体育連盟  
秋田県バスケットボール協会

チームA <b>福島第一</b> 60 ●	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>6</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	20	1st	16	21	2nd	12	6	3rd	23	13	4th	15	OT			チームB <b>山王</b> 66 ○
20	1st	16															
21	2nd	12															
6	3rd	23															
13	4th	15															
OT																	

主審:Referee  
高平吉康 宮城県  
副審:Umpire  
藤田公平 青森県  
テーブルオフィシャル:Table officials  
秋田市立秋田東中学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	福地 真央	CAP	15	2	4	1	4	4	×	新保 星弥	CAP	2	0	1	0	1
5	×	下重 太一		8	0	4	0	2	5	×	菅原 大雅		9	0	3	3	0
6	×	村松 俊介		17	1	7	0	1	6	×	上村 大佐		29	0	14	1	1
7	×	高橋 克徳		17	1	7	0	2	7	×	藤井 幹太		0	0	0	0	0
8	×	阿部天太朗		0	0	0	0	1	8	×	星 一輝		10	0	5	0	3
9		井澤 颯汰		-	-	-	-	-	9		嵯峨 瑞基		-	-	-	-	-
10	×	齋藤 恒陽		3	0	1	1	4	10		平川 巧太		-	-	-	-	-
11		長崎 大地		-	-	-	-	-	11	×	工藤 悠		0	0	0	0	0
12		佐藤 蓮		-	-	-	-	-	12		佐藤 幸哉		-	-	-	-	-
13		山田 有晏		-	-	-	-	-	13	×	工藤 凌		16	4	2	0	0
14		八巻樹稀也		-	-	-	-	-	14		大山 璃人		-	-	-	-	-
15		伊藤 瑛士		-	-	-	-	-	15		太田 響		-	-	-	-	-
16		寒河江康介		-	-	-	-	-	16		仙北谷 蓮葉		-	-	-	-	-
17		奈良輪幸哉		-	-	-	-	-	17		久住 和也		-	-	-	-	-
18		齋藤 亜澄		-	-	-	-	-	18		古屋 脩斗		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
監督		杉 朋子							監督		相場 堅祐						
コーチ		今村 恵美子							コーチ		三浦 一弘						
合計				60	4	23	2	14	合計				66	4	25	4	5

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q立ち上がり、福島第一が速い展開から#10齋藤、#5下重、#6村松とシュートを決め0-6とする。その後山王は高さを生かし#5菅原、#6上村がゴール下で得点する。一方福島第一は#4福地がドライブを決め3-8とし、山王が1回目のタイムアウト。その後山王は#8星がゴール下で得点し、#13工藤凌が3Pを決め12-11と逆転。福島第一は#6村松がジャンプシュートで連続得点し、#4福地のドライブも決まり、カウントワンスロー。お互い譲らず一進一退の展開となり16-20、福島第一がリードして第1Q終了。

第2Q、福島第一が#4福地の2本の3Pとジャンプシュートで連続得点を決める。山王は#6上村のカットインや#8星のインサイドで攻撃し得点をするが、福島第一の堅い守りに苦しい展開となる。山王は残り4分、22-30となったところで2回目のタイムアウト。しかし、福島第一の勢いは止まらず、#6村松、#7高橋のジャンプシュートやリバウンドからの速攻で点差を広げる。山王はアウトサイドのシュートを試みるが決まらず、28-41で福島第一が13点リードして前半終了。

第3Q立ち上がり、山王は#6上村にパスを集め、連続で得点。また、#5菅原の力強いディフェンスリバウンド、#6上村のドライブやリバウンドシュート、#13工藤凌の3Pで残り5分、40-43と3点差に詰め寄る。その後も#6上村、#13工藤凌が連続で得点し、#13工藤凌のジャンプシュートで残り2分、47-47の同点。たまたら福島第一はタイムアウトをとるが、流れを取り戻せない。山王は#6上村のドライブで逆転し51-47の4点リードで第3Q終了。

第4Q、山王の#6上村のドライブや#8星の粘り強いディフェンスで相手のミスを誘い、#5菅原が速攻を決め、残り7分30秒、55-47となったところで福島第一が2回目のタイムアウト。福島第一はディフェンスをオールコートにし、リズムを変えようと試みるが、山王は確実にボールを運び、残り5分30秒で10点差とする。福島第一は#5下重、#6村松、#7高橋がジャンプシュートを決めるが、山王は落ち着いてボールを回し#4新保がダメ押しのジャンプシュートを決め、リードを守りきった山王が66-60、逆転で決勝トーナメント進出を決めた。

文責 【 三浦 美津子 】